



陣内俊 Prayer Letter

Designed by CORKSCREW DESIGN WORKS /2008/All Rights Reserved

2019年10-12月号

Vol.49

支援者の皆様へ

支援者の皆様、こんにちは。いつも皆様のお祈りと尊いご支援を感謝いたします。

私たち家族は、今年は10月に少し遅い夏休みを取り、千葉県房総半島で過ごしました。東京に生活する長女かなえと私たち家族にとって、自然豊かな海辺の環境や「市原ぞうの国」は、自然や生き物と触れ合える良い思い出になりました。今年は夏に体調を崩したこともあり、また仕事を再開し、夏休みを家族で過ごしていることをひとしお嬉しく思いました。主に守られて無事に出産まで導かれれば、来年の1月末には新しい家族が加わります。2人目の子どもが加わるチャレンジもあると思いますが、それ以上に神が私たちの家庭に委ねてくださる新しい命を楽しみにしています。

お祈りくださるパートナーの皆様にも、今年は様々なことがあったと拝察します。2020年にも、豊かな主の恵みが豊かにありますようお祈り申し上げます。私たち家族も、2020年も神の国の働きに主の願われる形で参加していきたいと願っています。皆様のお祈り、お励ましをよろしくお祈りいたします。



よにでしセミナー第三期 in 淡路島

11月22～23日、淡路島の南淡路休暇村において、「世にあつて弟子として生きる信仰者のための週末合宿（通称よにでしセミナー）」が開催されました。第三期となる今年はこれまでで最も多い15名の参加者がありました。6月に参加したフィリピンでの「Global Workplace Forum」で学んだ、「Business is Mission（仕事はそれ自体宣教である）」ということ、日本に具体化していくために模索してきた「よにでしセミナー」も、第三回を経て毎年学びの内容が濃くなっています。キリストの弟子は天国のような理想環境で働いているのではなく、「矛盾」を内包する現実のこの社会で「うめき葛藤しながら」前に進みます。「よにでしセミナー」では、その矛盾との葛藤をケーススタディを通して擬似的に体験し、「学習する共同体」のなかで対話を深めることで、**矛盾に満ちたこの社会の只中で「光・塩」として生きるための思考法を養うことができます。**皆様の祈りなくしてこの働きを続けていくことはできません。来年もまた、北海道で第四期を行うための準備を始めています。どうぞ祈るとともに、様々な形で参加してくださいませと幸いです。

困難な現代社会における「預言的働き」としての情報発信

昨年末に「2019年にしたいこと」として挙げた目標のなかに、YouTubeでのラジオ動画の配信があります。FVIの働きを私は現代社会における「預言的働き」と定義していますが、その「預言の声」は様々な形で発信されなければ、様々な人々には届かないと感じていたからです。メルマガやブログなど文字情報における発信はこれまで10年以上やってきましたが、もはや「本を読まない／文字を読まない世代や人々」がいることも感じますし、通勤中の忙しいビジネスパーソンには「耳からの情報の取り込み」が最適なのでは、という意識もありましたので、音声コンテンツでの情報発信はどこかでやるべきだと感じていました。

春に配信を始め、同じ音源をPodcastでも配信しはじめて6ヶ月以上が経ちました。これまで約80本の動画／音源を配信し、YouTubeは毎月約1,000回の再生があり、Podcastは3,500回を超えて順調に伸びています。すべての動画を熱心に見ている小学生に会ったときは、発信の形を変えることで届く範囲が変わるということを体感し、新鮮な驚きを覚えました。「聖書的世界観を、なるべく聖書の言葉を使わずに伝える」というのがこれらのコンテンツで私がしようとしていることです。伝えたいメッセージは変わりませんが、伝える様式は時代に応じて様々に変わっていきます。皆様の祈りと応援が後押ししてくれているからこそチャレンジができます。お祈りに感謝いたします。



メッセージ要約「信仰と冒険」

「信仰と冒険」 主題聖書箇所：

2019年8月18日、練馬グレースチャペルにて礼拝メッセージ

* Youtube／Podcastにて視聴可能ですので検索してみてください

「預貯金の多さ・投資の少なさ」や、「起業率の低さと起業失敗に対する恐れ」など、様々な調査結果が、私たち日本人が世界で「最も冒険しない民族」であることを示しています。脳科学の分野でもその証拠が見つかってきています。セロトニントランスポーター遺伝子は、「不安遺伝子」と呼ばれ、これがL型だと安心、S型だと不安が強くなる傾向があります。「LL型」を安心、「SL型およびSS型」を不

安と分類した場合、最も安心型が多いのはラテンアメリカやアフリカ系で7割、白人は3割なのですが、日本人のなかに「LL型」の遺伝子を持つのはたったの3%なのです。97%の日本人が「不安型の遺伝子を持つ」ということになります。これは自然災害が非常に多い日本の風土によって、「小さな変化に敏感になり、不安を強く感じる」ことが生存に有利に働いてきたからだだと科学者は分析しています。

しかしながら、「日本的な態度」と「聖書的な態度」が対立する場合、「聖書的な態度」を選ぶのがキリスト者にとって大切です。「失敗に対する恐れゆえに冒険しない傾向」はそれでは、「聖書的」なのでしょう。ヘブル人への手紙 11章 8～9節によれば、アブラハムは故郷を捨てて、「どこへ行くか知らずに」旅立ったことが信仰の義と認められています。命の危険を冒してイスラエル人を守った遊女ラハブ、「死ななければならぬのなら死にます」と言って支配者に対立した王妃エステル、統治者に逆らっても神の真理を語り処刑された旧約の預言者たち、殉教されたと伝えられる十二使徒たちやパウロなど、「信仰者は例外なく冒険者」だったことがわかります。アメリカの作家アン・ラモット氏は、『『信仰』の反対概念は『疑い』ではありません。信仰の反対は、『確実性』です。』と語っています。日本人は遺伝的にも「確実性を志向する」民族ですが、もし私たちがいつも確実性を求めていくなれば、どこに「信仰が働く余地」があるのでしょうか。「タラントのたとえ」で、主人から預かったタラントを土に埋めたしもべは、「確実性を求めた不信仰」ゆえに主人から叱られた、とも言えます。「ミナのたとえ」では、商売に成功したしもべが2人、布にくるんで保管していたしもべが1人出て来ますが、残りの7人がどうなったのかについて聖書は何も語っていません。「商売」という性格を考えると、この7名のなかに「商売に挑戦したが失敗したしもべ」がいたと考えるのは普通です。では、主人はこのしもべを叱ったのでしょうか？褒めたのでしょうか？

私は「褒めた」と考えます。なぜか？それは主人の命令が「私が帰ってくるまで、これで商売をしなさい」（ルカ 19：13）だからです。主人は「商売をして成功しなさい」とは言っていません。叱られたしもべは「挑戦しなかった」から叱られたのであって、儲けなかったからではありません。

私は1996年8月18日に洗礼を受けました。今日でクリスチャンになって23年になるわけですが、大きな転機が2008年にありました。それまでしていた市役所職員を辞職し、現在のようなセルフサポートの宣教の働きに身を投じることを決めたときでした。ストレスで原因不明の高熱を出しましたが、その前の3年間祈り、神と向き合った結果、「挑戦するか、しないか」の二択ではもはや迷っていませんでした。それは、神から「タラントは人生そのものである。もしあなたがこのまま定年まで公務員を続けたら、それは『タラントを埋めたことになる』」と語られていたからです。あの決断から11年が経ちます。その間、病気にもなりまして挫折もしましたし、「来年も活動できているかどうかわからない」という不確実性を今も抱えています。しかし、天国で神と顔と顔を合わせてお会いしたとき、「あのとき、私はタラントを土に埋めませんでした。少なくとも私は『商売』をしました」と胸を張って言うことができますし、今この瞬間も、命を燃やし、リスクを冒し、「預かったタラント」を使い続けています。

「召命」は人それぞれに違いますから、「キリスト教関係の仕事」をすることだけが献身ではないのは言うまでもありません。しかしながら、それがどのような分野だったとしても、「冒険」を伴わない信仰の歩みはありません。どうぞ、その一歩を踏み出してみてください。神はその一歩を用いて、御国を広げてくださいます。



祈りの課題

- ◇2020年1月末に予定されている計画出産日まで、母子ともに健康が守られるように。
- ◇純子、俊、かなえ、生まれてくる赤ちゃんの健康が支えられ、家族で喜んで神に仕え続けられるように。
- ◇2020年も、神の導きに従いながら、この時代に必要な働きを続けていけるように。
- ◇FVI、および「陣内俊を支える会」の経済的必要が支えられ、働きが継続していけるように。

2019年12月以降の主な活動予定

月 日	内 容	場所、補足
12月13日	クリスマス講演	コドモの園幼稚園
12月21日	夫婦関係ワークショップ	武蔵野福音自由教会
2019年1月13日	聖協団新年聖会	練馬グレースチャペル
2月17～18日	FVI 役員会	万座温泉ホテル
随時継続的に	包括宣教の各種活動	国内各地

* 上記は現在までで分かっている暫定的な範囲の予定です。

連絡先（奉仕・各種仕事のご依頼はこちらへ）

陣内への Email shun@karashi.net 無料メルマガ、YouTube 放送、ブログなど→「陣内俊」で検索

支援のための献金方法

私の活動は、支援者の皆様の善意の支援献金によって支えられています。経済的支援をもってご協力くださる方は、お手数ですが以下のいずれかの方法で口座にお振込ください。ご支援を心より感謝いたします。

- ゆうちょ銀行口座番号 12110-91889141 名義：「陣内俊を支える会」
- 他行からの振込 店名（店番）：〇八九（ゼロハチキュウ）（089）預金種目：当座
口座番号：0142825 「陣内俊を支える会」
- 郵貯振替口座番号 00830-1-142825 名義：「陣内俊を支える会」
(同封の振込用紙がご利用いただけます。)

- * 振込用紙をご入り用の方、ゆうちょ口座からの自動引き落としを利用されたい方はお知らせください。
- * 振込用紙（赤色・手数料当方負担）を同封いたしますが、振込用紙は決してご支援を催促するものではありません。お振込くださるときにご利用ください。（毎月ご利用の方のために複数枚同封しています。）
- * Prayer Letter の購読、自動引き落としを停止されたい方、またはお届け先の住所に変更がある方は、お手数ですが、上記連絡先のいずれかにご連絡ください。